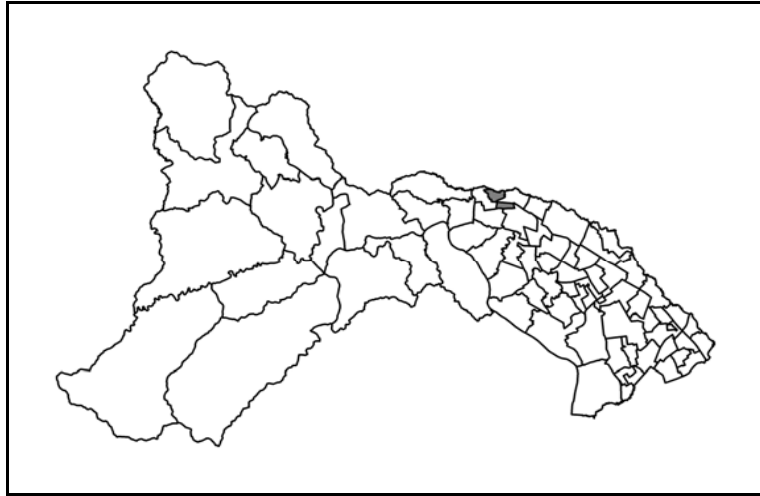


○地区を構成する町丁

【緑区】相原1丁目～3丁目、橋本7丁目・8丁目、西橋本5丁目、元橋本町

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

橋本(自治会法人相原当麻田, 二本松, 橋本末広町, 自治会法人橋本本町)

○地区概況

台地(上段)にあり、北端を境川が流れている。地区の東部をJR横浜線が通っている。幹線道路がほぼ中央を横断し、この道路を境に北側は境川に向かって地盤が低くなっている。全体に住宅地が多いが、農地も混在する。

○建物数・人口

建物	区分		建物(棟数)
	区分	棟数	
建物	木造(昭和55年以前)	425棟	
	木造(昭和56年以降)	862棟	
	非木造(昭和55年以前)	75棟	
	非木造(昭和56年以降)	241棟	
	合計	1,604棟	
人口	区分		人口(人)
	0~4歳	325人	
	5~64歳	5,459人	
	65歳以上	1,678人	
	合計	7,462人	

○所見

- ・境川の河床は、周囲より約7m低い。
- ・道路の幅が狭いところが多く、木造住宅も多い。
- ・富士山の大規模噴火時には2cm未満の降灰が予測されており、道路や鉄道の通行支障、停電などのおそれがある(風向きによってはより重大な被害のおそれもある)。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	緑区役所, 緑区合同庁舎, 橋本まちづくりセンター, サン・エールさがみはら(市立勤労者総合福祉センター), さがみはらパーソナル・サポート・センター(さがみはら産業創造センター)
警察署	相模原北警察署
消防署	
消防団詰所	
病院等	相模原北メディカルセンター, さきさか整形外科クリニック
主な災害時要援護者施設	P-スマイル
幼稚園、保育園	新町幼稚園, 星の子保育園
学校、大学	当麻田小学校
避難所	当麻田小学校
※洪水時避難所兼用	
洪水時避難所	
広域避難場所	
防災備蓄倉庫	当麻田小学校
※広域避難場所対応	
臨時ヘリポート	

○地震被害予測結果

	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	80棟	5.0%	64棟	4.0%	4棟	0.2%
建物焼失	19棟	1.2%	7棟	0.4%	0棟	0.0%
死者	5人	0.1%	4人	0.1%	0人	0.0%
閉込者	37人	0.5%	32人	0.4%	3人	0.0%
重傷者	7人	0.1%	6人	0.1%	0人	0.0%
軽傷者	45人	0.6%	40人	0.5%	9人	0.1%
避難所避難者(当日)	301人	4.0%	250人	3.3%	33人	0.4%
避難所避難者(1週間後)	757人	10.1%	707人	9.5%	251人	3.4%

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	
土砂災害	
地震による地盤災害	
地震による建物被害、火災	

○近年の主な災害履歴

なし

凡例

防災関連施設等

	市役所、まちづくりセンター等
	公民館、主な公共施設等
	警察署、交番、駐在所
	消防署
	消防団詰所
	病院等
	主な災害時要援護者施設
	幼稚園、保育園
	学校、大学
	避難所・洪水時避難所
	広域避難場所
	広域避難場所への車両進入可能箇所
	救護所
	防災備蓄倉庫
	ひばり放送塔
	雨水調整池
	臨時ヘリポート
	災害時協力井戸
	緊急輸送路
	小学校区境界
	地区自治会連合会境界

地形分類

	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

災害履歴

	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

災害危険箇所等

	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

書き込み欄

みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例: 浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)

